

目次

◇情報

- ▽『東京福祉タクシー総合配車センター』を開設／東京
- ▽「119番緊急通報に係る位置情報通知システムの運用開始／総務省消防庁」
- ▽「首都高にサービス介助士が誕生」
- ▽『共用品白書』の点字データ無料配布／ロゴス
- ▽「ユニバーサルデザイン製品開発支援ソフトを開発／静岡」
- ▽「関内に期間限定ショップ／横濱ジェントルタウン倶楽部」
- ▽「異常時案内用ディスプレイ設置／JR東日本」
- ▽「UDで“やさしい県庁”実践や提案事例などまとめ、データベース化へ／熊本」

◇募集

- ▽「19年度 日本規格協会 研究助成事業募集」
- ▽『バリアフリー2007』事前来場登録を開始／大阪」

◇報告書・書籍紹介

- ▽『より多くの人を使いやすいアクセシブルデザイン入門』
- ▽『JISハンドブック JIS総目録 2007』
- ▽『条例のある街 障害のある人もない人も暮らしやすい時代に』
- ▽『聴覚・言語障害者とコミュニケーション 新訂版 形態別介護技術「聴覚及び言語障害の介護」テキスト』

◇報告会・発表会・イベント

- ▽「『障害者の安全で快適な生活の支援技術』シンポジウム」
- ▽「セミナー：福祉機器と研究倫理・被験者保護と障害者権利の視点から」
- ▽「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー」
- ▽「障害者等ITバリアフリープロジェクト成果発表会／経済産業省・NEDO技術開発機構委託事業」
- ▽「シニアライフ エキスポ 2007 / SENIOR LIFE EXPO 2007」

=====
◆情報

- ▼『東京福祉タクシー総合配車センター』を開設／東京
 (財)全国福祉輸送サービス協会は、高齢者や障害者が福祉タクシーの予約が簡単にできる「東京福祉タクシー総合配車センター」を開設した。リフト・スロープ付き福祉タクシーを利用する場合は、電話かメールで申し込みをすれば、センターが各福祉タクシー事業者の空車情報を把握し、配車予約を30分以内に行う。
 東京福祉タクシー総合配車センター／電話：03-5287-5294（平日の9時から17時まで）

(ふくしチャンネル・2007年1月25日)

▼「119番緊急通報に係る位置情報通知システムの運用開始／総務省消防庁」

4月1日より、携帯電話・IP電話等からの119番緊急通報に係る位置情報通知システムの運用がはじまる。このシステムでは、携帯電話・IP電話等からの119番通報において、音声通話と併せて通報者の発信位置に関する情報が、自動的に消防本部に通知され、指令台において電子地図上に表示することが可能となる。特に携帯電話からの119番通報には大変効果的であるなど、通報者の発信位置を迅速に把握することが可能となるため、より迅速かつ確実な消防に役立つようになる。

詳細：<http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/jouhou/190126unyou.html>

▼「首都高にサービス介助士が誕生」

ユーザーに快適に利用してもらえる高速道路を目指し、パーキングエリアにおける施設のバリアフリーの推進に取り組んでいるが、今回、ソフト面でのバリアフリーを推進するため、パーキングエリアの管理や施設部門に所属する社員16名が“サービス介助士”の資格を取得した。高速道路事業者では初めて。高齢のユーザーや身体の不自由なユーザーが移動や施設を利用する際に、手助けしてくれるという。

(Carview・2007年1月15日)

▼「『共用品白書』の点字データ無料配布／ロゴス」

ロゴス点字図書館は、共用品推進機構が作成した「共用品白書」の点字データを製作し、全国の点字図書館や視覚障害者協会、盲学校に無料で配布した。点字データはフロッピー2枚。同館は「一人でも多くの人に利用してもらいたい」と話している。

(点字毎日・2007年2月15日)

▼「ユニバーサルデザイン製品開発支援ソフトを開発／静岡」

企業のユニバーサルデザイン製品の開発を支援する静岡工業技術センターはこのほど、基礎医学研究分野のソフトメーカー、キッセイコムテックと体の負担を短時間で効率よく分析、評価するソフトウェア「BIMUTAS-Video」を共同開発した。人間の動作や作業（洗濯、掃除、など）を収録したビデオ映像と筋電（体の筋肉を動かす時に発生する信号）の強弱などを一体的にデータ処理することで、これまで2週間程度かかったデータ分析を約10分と大幅に短縮させた。

(静岡新聞・2007年2月17日)

▼「関内に期間限定ショップ／横濱ジェントルタウン倶楽部」

人にやさしいまちづくり活動を推進している横濱ジェントルタウン倶楽部は2月17日から3月4日まで、“ふれあいショップかもめ”で「ジェントルタウンショップ」を期間限定でオープン。ショップでは、障がい者の能力を活かした地域作業所の製品の向上をめざす試みとして、地域で活動するデザイナーの協力を得て開発した、エコバック、携帯ストラップなどのオリジナル商品を販売。期間中の土曜・日曜には、NPO法人横浜シティガイド協会のメンバーが、お勧めの観光スポットや観光コース、車いす用トイレの所在などのバリアフリー情報を提供する。

(ヨコハマ経済新聞・2007年2月17日)

▼「異常時案内用ディスプレイ設置/JR 東日本」

首都圏主要 19 駅の主要改札口に 112 台の異常時案内用ディスプレイを設置する。今まで文章で表示していた運行情報を地図式表示とし、振替乗車路線の情報についても表示する。また、大規模災害の発生時には、NHK の災害報道番組を放映。

(交通エコロジー・モビリティ財団 <http://www.ecomo.or.jp/>)

▼「UD で “やさしい県庁” 実践や提案事例などまとめ、データベース化へ/熊本」

県は高齢者や障害者、子どもなどすべての人にやさしい社会づくりである UD の実践・提案事例を全職員から集め、データベース化を進めている。「くまもと UD 全員プロジェクト」と銘打ち、昨年 8 月から 4000 人超の全職員から UD の実践事例やアイデアを募集した。事例は 3 月にかけて取りまとめ、データベース化して一般にも公開する

<http://www.mainichi-msn.co.jp/chihou/kumamoto/news/20070209ddlk43010557000c.html>

(毎日新聞・2007年2月9日)

=====

◆募集

▼「19年度 日本規格協会 研究助成事業募集」

標準化及び品質管理等の管理技術の更なる普及促進のため、外部研究者のこれらの分野への関心を高めるとともに、研究の促進を図ること及びこれらの分野の研究者の育成を図ることを目的とする研究助成事業を実施。

申請期間：2月1日から2月末日（必着）

詳細：(財)日本規格協会 総務企画部 広報室

http://www.jsa.or.jp/info_detail/jsa_kenkyu.asp

本件の受付は終了しました。

▼「『バリアフリー2007』事前来場登録を開始/大阪」

第 13 回 高齢者・障害者の快適な生活を提案する総合福祉展。300 社を超える出品に加え、「目のみえない方・見えにくい方のための展示コーナー」（日本ライトハウス企画）、「ファイン財団パビリオン」「e-AT パビリオン」など情報量豊かな特別企画コーナーを多数開設。また、基調講演やセミナーなど多彩なセミナーの開催を予定。

会期および開場時間：4月12日(木)～14日(土)、10時～17時

会場：インテックス大阪 詳細：<http://www.itp.gr.jp/bf/>

=====

◆報告書・書籍紹介

▼『より多くの人を使いやすいアクセシブルデザイン入門』

高齢者・障害のある人々に配慮したやさしいデザインとは?! 使う人が恩恵を受けられる、ハートのあるモノづくりのヒントをお届け。読みやすい大活字、最新トピックス満載の楽しいコラムも多数収録。

星川安之・佐川賢 共著 発行：日本規格協会 本体価格:900円 ISBN: 4-542-92021-6

▼『JIS ハンドブック JIS 総目録 2007』

部門・分野別に、制定・改正・確認年月日、主務大臣、原案作成団体、国際整合規格、ICS 分類番号、廃止された JIS 及び切替え先 JIS 番号等の項目を記載した目録。工業標準化法改正による新 JIS 制度に対応。

日本規格協会編集 発行：日本規格協会 本体価格:5,500 円 ISBN:4-542-17571-5

▼『条例のある街 障害のある人もない人も暮らしやすい時代に』

日本で初めて障害者への差別をなくす条例をつくろうとした、千葉県の福祉改革プロジェクトの記録。資料として「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」原案と成立した条例を掲載。

著者：野沢 和弘（のざわ・かずひろ） 発行：ぶどう社

本体価格:1,700 円 ISBN:4-89240-187-0

▼『聴覚・言語障害者とコミュニケーション 新訂版 形態別介護技術「聴覚及び言語障害の介護」テキスト』

コミュニケーションを通して人として育まれることや人間同士の連帯や共感が生まれることなど、コミュニケーションの本来の意味を、様々な聴覚障害者の生活を通して具体的に示す。

監修：一番ヶ瀬 康子（いちばんがせ・やすこ） 編集：全国手話通訳問題研究会企画

発行：一橋出版 本体価格:2,200 円 ISBN:4-8348-0349-X

=====

◆報告会・発表会・イベント

▼『障害者の安全で快適な生活の支援技術』シンポジウム

テーマ 1：障害者の自己決定を支援する情報コミュニケーション技術の開発

テーマ 2：重度障害者の自立移動を支援する技術の開発

会期：2月 22 日(木)～23 日(金)

会場：秋葉原コンベンションホール

参加費：無料（事前登録制）交流会費 5000 円

主催：国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所、産業技術総合研究所ほか。

本件は終了しました。

▼「セミナー：福祉機器と研究倫理・被験者保護と障害者権利の視点から」

福祉機器開発の臨床試験と日本の現状について報告し、皆様と一緒に考えることを目的としたセミナー。

日時：2月 26 日(月) 13 時～17 時

会場：早稲田大学 小野記念講堂 主催：日本生活支援工学会

後援：(財)テクノエイド協会、日本福祉用具・生活支援用具協会 参加費：無料

本件は終了しました。

▼「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー」

昨年 12 月 20 日に施行されたバリアフリー新法における地域福祉交通と交通バリアフリ

ーに関する新しい動きを学ぶとともに、今までに実施された交通バリアフリーのグッドプラクティス（ユニバーサルデザインのアプローチに基づく先進的取組み事例）を紹介し、交通まちづくりにご尽力の関係者各位の今後の活動の発展の推進を目的に開催。

日時：4月26日(木) 13:00～17:00 場所：豊中市立アクア文化ホール

定員：490名（定員になり次第締め切らせていただきます。）参加費：無料

申込み・お問い合わせ：交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部

本田 FAX03-3221-6674

(交通エコロジー・モビリティ財団 <http://www.ecomo.or.jp/>)

本件は終了しました。

▼「障害者等ITバリアフリープロジェクト成果発表会 / 経済産業省・NEDO 技術開発機構委託事業」

日時：3月1日(木) 10時～12時

※午後は歩行者向け移動支援サービスの実用化・普及に向けたシンポジウムを予定。

場所：東京大学本郷キャンパス

問い合わせ・事前申込先：障害者等ITバリアフリープロジェクト

<http://www.itbarrierfree.net/>

<http://www.mainichi.co.jp/universalon/volunteer/message/2007/0211.html>

(ふくしチャンネル・2007年2月11日)

本件は終了しました。

▼「シニアライフ エキスポ 2007 / SENIOR LIFE EXPO 2007」

シニア世代がいきいきと安心して生活するための社会を実現するために、関連製品・情報を一堂に集め、業界関係者やシニア世代の情報交流、課題解決を目指す場を提供する。

会期：3月28日(水)～29日(木) 場所：東京ビッグサイト 東5ホール

入場料：1,000円(税込)

(交通エコロジー・モビリティ財団 <http://www.ecomo.or.jp/>)

本件は終了しました。

=====
アクセシブルデザイン通信 第18号・発行：アクセシブルデザイン推進協議会

・発行年月日：平成19年2月20日 引き続き、情報の提供をお願いいたします。

FZG01477@nifty.com (星川)

=====